



ていじせい かぜ 定時制の旋風

2024年12月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「きつい仕事と楽な仕事」

ここに少しきつくて辛い仕事と、楽で簡単な仕事があるとします。時間とか報酬とかは一切考えずに、単純にどちらかを選択しなければいけない時、どちらを選びますでしょうか。おそらく大部分の人は、楽な仕事の方を選ぶと思います。しかし、今後のことを含めてよく考えてみてください。

今から高校を卒業して、現実の社会に出た時、いろいろな種類の仕事を任せられ実行していかなければなりません。今、楽な簡単なことばかりを求めていると、どのようになるのかを考えてほしいと思います。楽な道ばかりを歩んでいくと、簡単で単純な仕事しかできなくなってしまうのではないのでしょうか。

もし、そのような習慣が身についてしまった時は大変です。少し難しい仕事を与えられた時や、困難なことに直面した時、それらに対して“どのように対処してよいのか”を経験したことがない人は、立ち往生してしまいます。また、仕事をやり始めても、それらの問題を工夫する力や、どこでけじめをつけたら良いのかが分からなくなりますから、自分を見失ってしまうことにもなりかねません。若い時に、「嫌なことはしない“怠け習慣”」を身につけてしまうとなかなか直りません。

高校時代から、困難なことでも積極的に工夫してやっていく習慣を身につけておく必要があります。少々嫌なことでも引き受けるだけの「心のゆとり」と、少々難しい仕事でも知恵を働かせ工夫しながら行動できる「力量」を身につけてほしいと思います。きつい仕事になっても全員で、知恵を出し合い協力して、思い出に残る高校生活を送ってください。

【令和6年度 体育大会】

11月1日（金）、体育館にて令和6年度体育大会が開催されました。リレー競技、綱引き、大縄跳びの種目に生徒たちが全力で取り組む素晴らしいものとなりました。また、大トリの綱引きの決勝戦にはお互いの担任の先生方も入り、大変盛り上がりました。優勝は1年生、準優勝は2年生でした。



【社会見学】

11月13日（水）神戸へ社会見学旅行に行きました。カワサキワールドを最終目的地とし、それぞれが計画をした内容にそって有意義な時間を過ごしました。また、当日は天気にも恵まれ、思い出深い社会見学となりました。



（文責 教頭 松本 康一）